



第16回 日本炎症性腸疾患学会学術集会

The 16th Annual Meeting of Japanese Society for Inflammatory Bowel Disease

ランチョンセミナー5

日時 2025年8月23日(土) 12:20~13:10

会場 【第2会場】 札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階「大沼」

札幌市中央区南3条西12丁目 TEL: 011-241-1111 (代表)

開催
形式 現地開催

<テーマ>

IBD診療におけるIL-23p19阻害剤オンボアの最適化

司会

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座 教授 櫻庭 裕丈 先生

講演Ⅰ 演者

旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野 助教 安藤 勝祥 先生

『オンボアの特性と使用経験を考慮した UC治療へのアプローチ』

講演Ⅱ 演者

名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部 准教授 中村 正直 先生

『CD内科治療におけるオンボアの可能性』

●承認された効能又は効果(国内)

オンボア点滴静注

- 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)
- 中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)

オンボア皮下注100mgオートインジェクター

オンボア皮下注100mgシリンジ

- 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)
- 中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)

オンボア皮下注200mgオートインジェクター

オンボア皮下注200mgシリンジ

- 中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る)

◆共催◆ 第16回日本炎症性腸疾患学会学術集会
持田製薬株式会社